

第2回 立野小学校 授業研究会

講師

横浜創英大学

子ども教育学部

学部長

大内 美智子 先生

横浜市立丸山台小学校

校長

倉本 恵 先生

授業者 1年1組 小倉 智弘 生活科「学校探検」



学校を探検する活動を通して、学校の施設や設備の役割や学校生活を支えてくれる人たちのことを考えることができるように授業をしました。

子ども達は、グループに分かれて自分の興味や関心に合った場所へと探検に出かけました。特に、学校の先生や職員の仕事を知り、「弟子入りしたい」と思いをもち、仕事について質問をしたり、体験をしたり自ら積極的に人に関わろうとする姿が見られました。

講師の先生からは、「子ども達が人に関心をもって関わろうとする姿が見られた。」「これからは、年間を通して、続けて行くとよい。」「これから、さらに人の思いやどうしてその仕事をしているのか深めていくとよい。」と講評をいただきました。

授業者 2年3組 中里 優子 生活科「ぐんぐんそだて わたしのやさい」



夏野菜を栽培する活動や栽培に関わる出来事を友達と伝え合う活動を通して、野菜の立場に立って世話を見直し、野菜がおいしく育つ世話の仕方について考え、野菜をもっとおいしく成長させるために進んで世話しようとする思いをもつことができるように授業をしました。

子どもたちは、グループでそれぞれの野菜の成長を比べながら自分の野菜の世話をし、栽培している野菜が世界一おいしく育つために必要な世話について考えました。「みんなで話したら、茎と茎の間に生えるつぼみのようなものが脇芽かもしれないと分かりました。」「実に栄養を送るために脇芽を取ることが必要だと分かりました。脇芽を見つけたら取ろうと決めました。」「水やりを朝にたっぷりやるのが大切だと分かりました。」と、学習を振り返り、世界一おいしい野菜にするためには細かいところを見落とさないで見て世話をすることが大切であると実感する姿や、知らないことや分からないことを粘り強く探究していく活動は自分とみんなにとって良いものであると気付く姿が見られました。

講師の先生からは、「子どもたちが野菜に浸り、熱中して活動する姿が見られた。」「グループ内、グループ同士、クラス全体で情報を交換し主体的に対話していた。」「問題追究できる子どもに育っている。」と子どもたちへの評価をいただきました。